

ヘルスサービスリサーチ分野(田宮研究室)

Department Health Services Research

医療における各種サービス(保健・看護・福祉を含む)の質を、ヘルスサービスリサーチ手法を用いて、包括的・科学的に評価・分析し、実証データに基づく学際的研究成果を通じて、サービスの質向上を図り、生活と調和した医療実現の一助となることを目指します。

■ヘルスサービスリサーチとは

社会要因、報酬体系、組織の構造とプロセス、医療の質とコスト、そして最終的には、健康やウェルビーイングへの影響を科学的に探究する学際的な研究分野です(AcademyHealth, 2000)。

少子高齢社会の中で、山積みする問題を解決するには、疾病治癒をめざした医療モデルのみでなく、保健・医療・福祉等の各種サービスを包括的に評価・研究していくことが求められます。

欧米では、国や主要大学にはヘルスサービスリサーチ部門があり、政策と並行し研究が推進されています。日本では重要性は認識されつつも、まだ緒についたばかりです。

田宮研究室では、筑波大学の特徴を活かし、法学・経済学・法医学等と共同し、学際融合型の研究を実践しています。

スタッフ:

教授 田宮 菜奈子(総合研究棟D420)

029-853-8324

ntamiya@md.tsukuba.ac.jp



■現在の研究内容

- ・介護保険・支援費制度の縦断的評価研究
- ・医療におけるジェンダー・家族の役割
- ・転倒・褥瘡等のアウトカムに基づく施設ケアの質の評価・向上
- ・医療福祉システムの国際比較(ドイツ介護保険 途上国の高齢者政策)
- ・高齢者孤独死撲滅にむけた法医学検事例の公衆衛生学的時系列分析
- ・予防接種向上のための地域保健サービス等の介入に関する包括的研究
- ・高齢者施設居住者の視機能
- ・介護予防事業の評価および効率化 など

■最新業績(研究室メンバー頭筆)

- ・Gender differences in the use of transportation services to community rehabilitation programs. BMC Geriatr. 2009
- ・Caregiver's decision on a family member's placement in a long-term care facility Analysis of caregiver interviews in Japan. SBP 2009
- ・Effect of maternal education and outreach services on child mortality in a Zambian village. J Intern Health 2009
- ・わが国における社会福祉・介護の法的権利保障の現状-1960~2005年の判決分析から-日本公衆衛生雑誌 2009

■今年度の外部資金

- ・福祉介護サービスの質向上のためのアウトカム評価拠点—実態評価から改善へのPDCAサイクルの実現—厚生労働科学研究費補助金(政策科学推進研究事業 代表)
- ・穏やかな人生の最終章のために—公衆衛生学・法医学・法学等学際的アウトカム研究拠点—文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B 代表)
- ・他 若手研究 4課題 代表採択

■研究室の社会貢献

- ・つくば市高齢者介護予防プロジェクト
- ・つくば市介護保険計画策定
- ・茨城県看護協会調査研究等

■大学院生募集(教授からのメッセージ)

生活に調和した医療のための実証研究を目指す方なら、バックグラウンドは問いません。医療関連職種の免許も必須要件ではありません。フロンティア医科学専攻では、選択するコースにより、ヒューマン・ケア科学修士、公衆衛生学修士(MPH)、医科学修士のいずれかが授与されます。地域や生活に近い保健・医療・福祉のアウトカム研究(在宅医療・施設ケア・慢性疾患とQOL)などで学位を取得したい方歓迎です。現場で感じた思い・疑問を、幅広い視点で見つめなおし、社会との関わりで深めていきたいという思いが大切です。

どうぞ一度研究室にお寄りください。

■研究室見学

総合研究棟D740に研究室があります。
下記の時間にゼミを行っていますので、この時間帯に合わせてお越しただければ、研究室の雰囲気が分かります。
日程は事前に田宮教授までご相談ください。
アクセス方法はホームページをご覧ください。

水曜日 14:00~16:00

木曜日 10:00~11:30 15:00~16:00

田宮研究室ホームページ

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/hsr/>